

令和4年10月入学/令和5年4月入学（第1期）

地域創生科学研究科博士前期課程

入学試験問題

社会デザイン科学専攻コミュニティデザイン学プログラム

「コミュニティデザイン学」

コミュニティデザイン学 1 ページ

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. コミュニティデザイン学プログラムでは、専門科目1科目を課します。
2. 問題は、問1から問2まであります。
3. 答案は試験問題ごとに別の解答用紙を用い、それぞれに受験番号、試験科目名及び問題番号を記入してください。
4. 外国人留学生特別選抜の受験者は、日本語・母語辞書（電子辞書・翻訳機等は除く）を使用することができます。
5. 試験終了後は、解答用紙及び下書き用紙を全て回収します。試験問題は持ち帰ってください。

令和4年10月入学／令和5年4月入学

地域創生科学研究科博士前期課程入学試験問題

科目名 コミュニティデザイン学	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻専攻 コミュニティデザイン学プログラム
--------------------	---

以下の文章を読んで問1～問2に答えなさい。

2040年頃にかけて生じる変化①によって、地域社会においては、今後、様々な資源制約に直面する一方、住民ニーズや地域の課題は多様化・複雑化していくことが想定される。

地域社会においては、行政のほか、コミュニティ組織、NPO、企業等、多様な主体によって、住民が快適で安心な暮らしを営んでいくために必要なサービス提供や課題解決がなされているが、今後は、これまで、主として家庭や市場、行政が担ってきた様々な機能について、これらの主体が、組織の枠を越えて、サービス提供や課題解決の担い手としてより一層関わっていく②が必要である。

また、大規模な自然災害の発生や感染症の拡大に際し、個々の家庭や行政による対応に加えて、地域の実情に応じ、地域社会の多様な主体が協力し、きめ細やかな対応・支援を行うことが、危機を乗り越えていく上で大いに効果を発揮することが再認識されている。

(「2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応するために必要な地方行政体制のあり方等に関する答申」より抜粋)

問1 下線①について、想定される変化の具体例を4つ、それぞれ100字以内で挙げなさい。

問2 下線②について、実現するための方策を400字以内で説明しなさい。

令和5年4月入学（第2期）
地域創生科学研究科博士前期課程
入学試験問題

社会デザイン科学専攻コミュニティデザイン学プログラム
「コミュニティデザイン学」

・コミュニティデザイン学 1ページ

試験開始前に以下をよく読んでください。

【注意事項】

1. コミュニティデザイン学プログラムでは、専門科目1科目を課します。
2. 出願時に届け出た専門科目を受験してください。
3. 答案は試験問題ごとに別の解答用紙を用い、それぞれに受験番号、試験科目名及び問題番号を記入してください。
4. 外国人留学生特別選抜の受験者は、日本語・母語辞書（電子辞書・翻訳機等は除く）を使用することができます。
5. 試験終了後は、解答用紙及び下書き用紙を全て回収します。試験問題は持ち帰ってください。

令和5年4月入学

地域創生科学研究科博士前期課程入学試験問題

科目名 コミュニティデザイン学	専攻・学位プログラム名 社会デザイン科学専攻 コミュニティデザイン学プログラム
--------------------	---

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月に確認されて以来、世界的なパンデミックとなり、社会の物質的および文化的な領域における構造的な特性を露わにしたといえそうです。そして、わたしたちの生活は急激な変化を余儀なくされました。

新型コロナウイルス感染症の社会的影響について、あなたが専攻する学問領域と他の領域との今後の連携を視野に、1000字程度で論じてください。